

## 第 2 学年 図画工作科 学習指導案

2年2組 指導者 今津圭佑

### 題 材 ざいりょうからひらめき

#### 1 本題材で子どもが創出と受容、転移を行う各教科等の本質（見方・考え方）

身の回りの材料の形や色などから表したいことを思いつくこと（発想すること）

#### 2 本題材で、各教科等の本質（見方・考え方）の創出と受容、転移を行っている子どもの姿

本学級の子どもたちは、自分の思いや感じたことをもとに発想し、絵に表す学習に取り組んできた。このような子どもたちが、身の回りの材料の形や色などに関わり、そこから発想したことを絵に表す学習に取り組む。このことは、身の回りの形や色などに関わり、楽しく豊かな生活を自ら創造しようとする態度を養うことにつながるであろう。

本題材は、身の回りの材料の形や色などをもとに発想したことを絵に表す学習である。子どもたちは、材料を集めたり並べたりすることで面白さや美しさを見出し、表したいことを思いつく（発想する）であろう。その際、形を変えられず、形や色が多様な人工の材料（ボタンやクリップなど）を提示するようにする。それらの材料を集めたり並べたりする中で、物や動物など意味のある形ではなく、形や色の並び方や全体の統一感、偶然性などに面白さや美しさを見出す姿を期待したい。そうすることで、身の回りの材料の形や色などに関わり、楽しく豊かな生活を自ら創造しようとするにつながると考えるからである。

そこで、以下のような支援を具体化し、本題材でめざす子どもの姿の実現を図る。

- 形を変えられず、形や色が多様な人工の材料を提示する。そうすることで、材料を集めたり並べたりしたときの面白さや美しさを見出し、表したいことを思いつくことができるようにする。【創】
- 自分たちの造形遊びの様子を写真や動画で振り返る場を設定し、発想するまでの過程について問う。そうすることで、自分たちの発想の仕方を自覚的に捉えることができるようにする。【受】
- 自分自身で集めた材料について、自覚的に操作し発想につなげている様子を価値付ける。そうすることで、身の回りの材料を作品づくりに生かすことができるようにする。【転】

#### 3 本題材の目標

- 身の回りの材料の形や色などから表したいことを思いつくことができるようにする。
- 身の回りの形や色などに関わり、楽しく豊かな生活を自ら創造しようとする態度を養うことができるようにする。

#### 4 本題材における評価規準

知識・技能（知）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
○材料と関わり、形や色を生かして表すことができる。	○材料を集めたり並べたりしたときの形や色などをもとに発想することができる。	○形や色などに着目し、身の回りの材料に進んで関わっている。

#### 5 指導計画（全5時間）

第1次 身の回りの材料をもとに発想する（3時間）【本時3／3】

第2次 発想の仕方を生かして絵に表す（2時間）

6 本時案 【令和2年11月5日 10:20~11:05 図工室】

- (1) ねらい 自分たちの造形遊びの様子を振り返る活動を通して、自分たちの発想の仕方を自覚的に捉えることができるようにする。
- (2) 学習過程 ※一重下線は創出、二重下線は受容、破線は転移に対応する子どもの意識

学習活動・学習内容	子どもの意識	○教師の支援
<p>1 自分たちの造形遊びの様子を写真や動画で振り返る。(15分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間の作品のよさ</li> <li>・自分たちの造形遊びの様子を捉えること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前の時間には、ボタンやクリップを使って遊んだね。みんなきれいにできているね。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>どうしてきれいな作品ができたのかな</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくたちの活動の様子の動画もあるそうだよ。見てみよう。</li> <li>A色ごとに分けたり並べたりしているね。</li> <li>・揃えると見え方が変わるのも面白いな。</li> </ul>	<p>○自分たちの造形遊びの様子を写真や動画で振り返る場を設定する。そうすることで、自他の作品やその制作過程を客観的に捉えることができるようにする。</p> <p style="text-align: right;">【受】</p>
<p>2 発想の過程についての気づきを交流する。(15分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発想の過程についての気づき</li> <li>・発想の仕方</li> </ul> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                 ・バラバラに置く                  ・色ごとに分ける                  ・向きを揃える                  ・順に並べる                  など             </p>	<p style="text-align: center;"><b>きれいな作品をどのように思いついたのかな</b></p> <p>A最初はボタンを色ごとに分けて集めてみて、きれいだなと思ったのだよ。</p> <p>Bクリップは形が同じだから、向きを揃えて、同じ色が隣にならないようにしたよ。</p> <p>・Cくんは図工室にあったスポンジを並べているね。どんなことを考えていたのかな。</p> <p>Cぼくたちは、大きさや向きを揃えることを意識して並べたよ。間隔も揃えたと、見ていてなんだか気持ちよかったよ。</p> <p>・<u>材料を集めたり並べたりして、何度も試している、きれいに見えてくるのだね。</u></p> <p>・みんなで気付いた方法を試してみよう。</p>	<p>○造形遊びをしながらどのように思いついたのかを問う。そうすることで、発想の仕方について自覚的に捉えることができるようにする。</p> <p style="text-align: right;">【受】</p>
<p>3 交流して気付いたことを試してみる。(15分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材料に進んで関わること</li> <li>・発想の仕方</li> </ul>	<p>A大きい順に並べてみたよ。きれいだな。</p> <p>・<u>身の回りのものも、形や色に目を向けて並べると、きれいに見えたり面白さを感じたりするね。</u></p> <p>A次の時間はどんな材料かな。楽しみだな。みんなで気付いた方法を使ってきれいな世界を思いつくことができるとよいな。</p>	<p>○交流して気付いたことを試してみる場を設定する。そうすることで、気付いた発想の仕方を自覚的に使うことができるようにする。</p> <p style="text-align: right;">【転】</p>

(3) 板書計画

どうしてきれいな作品ができたのかな

図工室の道具

おもしろい

色

形

どのように思いついたのかな

自分

もっときれいな作品ができるかな